

令和5年度 学校評価書 (計画段階・実施段階)

福岡県立東筑高等学校

自己評価				
学校運営計画(4月)				評価(総合)
学校運営方針	社会に貢献する実行力のある次世代のリーダーを育成する。 * 県外の高校との交流や、東大・京大等の大学、研究機関や企業との連携をとおり、個性豊かで創造性を有し、社会の変化に対応できる資質能力や逞しく生き抜く力を備えた人材を育成する。			A
昨年度の成果と課題	本年度重点目標	具体的目標		
スクール・ミッション「社会に貢献する実行力のある次世代のリーダーを育成する学校」の下、「個性豊かな東筑」「東筑リーダーシップ」の実践により、高みを目指す。希望進路実現のため主体的に学習に取り組む生徒が育ち、第一希望進路を実現する生徒が増え、進路実績も上昇している。また、主体的・対話的で深い学びを全教科・科目において実践することができ、本校が目指す6つのキー・コンピテンシーを身に付けた生徒の育成が進んだ。今後は更に、ICT活用、学校HPにおける情報発信を積極的に進めていきたい。	あらゆる教育活動において、本校で育成したい資質・能力(6つのキー・コンピテンシー)を意識した取組を実践する。	①幅広い教養と真の学力を育成するため、自主的で自発的な学習活動を展開する。 ②グローバルな課題解決に向けた、ICTを有効活用した探究活動を充実する。 ③県外の高校や大学との交流を通して、高い志と学力を伸長する活動を展開する。 ④国内研修を通して、研究機関や東大、京大等の大学、企業で、先進的な学びを体感する活動を提供する。 「6つのキー・コンピテンシー」 課題発見能力、活用能力、コミュニケーション能力、挑戦する能力、国際性、創造性		
		①文武両道により、健やかな心身を育成する。 ②生徒が文武において高く志を立て、粘り強く挑戦する逞しい精神を育成する。 ③生徒が主体的に活動する学校行事を推進する。 ④社会の変化に対応し、次世代でリーダーとして活躍できる人材を育成する。 「東筑リーダーシップ」 学校生活において、係や役割、場所等状況に左右されず、臨機応変に、自発的に提案・説得しつつ率先垂範し、他の生徒が集団に貢献できるよう他者のリーダーシップを引き出し、結果として全体のパフォーマンス(成果)を向上させる権威なきリーダーシップ		
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題
教育推進	観点別評価を浸透させ、授業改善を更に推進する。	生徒にわかりやすい観点別評価を実施する。	A	次年度で、3学年とも新教育課程による観点別評価となる。3年間の結果を受け、評価の基準、特に主体的に取り組む態度をより明確にする。 引き続き校務支援システムを十分活用し、正確な出席状況の把握と生徒の動態の把握に努める。ライフレポートに関しては結果を素早くフィードバックでき、有効に活用できたので継続していきたい。 「考査不受験届」を提出させ、適切に記録を保管し、より正確な評価を行うことができたので引き続き継続する。中学生体験入学でも新しい企画をさらにブラッシュアップさせたい。 単にコロナ前のやり方に戻すだけでなく、コロナ禍期間のノウハウを活用しつつ、新しい儀式、行事のあり方を模索していく。 校舎改築や校則改定に係る学校からPTAへの情報提供をより円滑に行えるよう心掛けたい。 「学校案内」を用いて主に中学校へは情報発信することができた。次年度さらに洗練されたものを作っていく。3月9メールは迅速かつ各自の情報発信ツールとして十分活用できた。
		効果的・効率的な授業アンケートの実施と結果の活用を検討し、迅速なフィードバックを目指す。	B	
		「総探」の教材、コンテンツの改善を図る。	A	
	生徒を把握し、出席を奨励する。	生徒動態の管理を行うとともに、生徒へ出席を奨励し、出席率99%を目指す。	B	
		欠課時数の多い生徒に対して、学年と連携して適切な指導を行う。	A	
		ライフレポート、東筑手帳を通して、生徒の生活実態を把握する。	A	
	各種業務の効率化・共有化を図るとともに、本校教育活動の特徴と魅力を外部に発信する。	統合型校務支援システムを効果的に活用し、業務の効率化に努める。時間割変更の効率的な方法を検討する。	A	
		全ての考査における規則等を統一し、徹底する。	A	
		「中学生体験入学」「進路相談事業」の内容を充実させる。	A	
		「東筑リーダーシップ」を育む儀式や式典、学校行事を企画、実施する。	A	
庶務	「個性豊かな東筑」を推進すべく、地域・PTA・同窓会との連携を強化する。	生徒の成長に繋がる儀式、学校行事を実施すべく、各学年や各分掌と積極的に連携し、協力体制を構築する。	A	
		コロナ禍のノウハウを活かしつつ、ポストコロナに対応した儀式、学校行事を計画、立案し、実績を残す。	B	
	教育活動の外部への周知と理解を図るために、他分掌と連携して広報活動を充実させる。	教育活動のさらなる充実を目指し、PTAを中心として保護者との細やかな連携を目指す。	A	
		「文武両道」「質実剛健」の校是を継承すべく、同窓会に積極的に助言を請う。	A	
		地域から愛される学校を目指すべく、本校教育活動を積極的に広報し、地域社会との共存を図る。	B	
生徒育成	「個性豊かな東筑」「東筑リーダーシップ」を育成する。	中学校を含む学校外への情報発信の一環として、『学校要覧』『学校案内』『入学のしおり』等を編集、発行する。	A	
		緊急時を中心に迅速かつ確実な情報発信を図るため、学校HPやメール配信システムを効果的に活用する。	A	
		生徒会を中心として主体的に学校行事を運営させる。	A	
	高い人権意識を構築する。	委員会活動を更に進化・発展させる。	B	
		豊かな個性が輝く場面を積極的に提供する。	A	
		他を認め合い協働できる態度を育成する。	A	
	安心・安全な教育環境を提供する。	いじめを絶対に許さない姿勢を堅持する。	B	
		差別を許さない感性を育成する。	A	
		防犯・危機管理への意識を強化する。	A	
		自らを律する逞しい精神を育成する。	B	
	自らの夢を実現させるために邁進できる環境を整える。	A		

学校関係者評価	
評価(総合)	自己評価は
A	A : 適切である B : 概ね適切である C : やや適切である D : 不適切である
	項目ごとの評価
A	学校関係者評価委員会からの意見
	大学入試の改革を迎えて、「情報」科などの課題についても組織としてとらえられている。 コロナの向き合い方が、社会的に変容している中で、学校の行事もきちんと対応できている。 コロナ禍を経て新しい行事の在り方を検討しており素晴らしいと思う。より良い教育推進に今後も尽力していきたい。また、学校PRにInstagramを活用していただきたく、職員名刺や中学校への情報発信媒体に掲載してはどうだろうか。 PTA、同窓会との連携はすばらしいと思います。PTAの方が発行される広報誌のクオリティに驚きました。
A	個性豊かなリーダーシップのある生徒が育っていると感じる。先生方との交渉は良い経験になると思うがストレスにならない程度に連携を密にしていきたい。また、人権、いじめ、SNSについての研修は随時しっかりやっていただきたい。高い理想を目指した集団の中に必ず「いじめ」は存在する。それを踏まえて指導を行っているのがわかる。 意識的に生徒の活躍する場面をつくられていることで、成功体験から自発性や自主性が育つと思います。

生徒育成	保健	生徒の心身の健康状況について職員が正しく理解し、個に応じた細かな対応ができるようにする。	教員や保護者と密に情報交換を行って心身の健康問題を的確に把握し、スクールカウンセラーや特別支援コーディネーター、関係者と連携を推進して支援に生かす。	A	A	コンサルテーションやケース会議をこまめに行うことに加え、生徒観察シートを有効に活用して行きたい。また、特別支援教育について関係分野との調整を図る必要がある。		
		保健室来室が多い生徒の情報収集・分析を行い、問題の背景やつまずき、困り感を的確に把握する。	保健室来室が多い生徒の情報収集・分析を行い、問題の背景やつまずき、困り感を的確に把握する。	A				
		学習環境の整備を行う。	清掃時間を遵守し、全職員・生徒で責任をもって担当区域を整備する。	A				
		月に1回、環境衛生委員・保健委員で清掃点検を行い、美化意識の高揚を図る。	月に1回、環境衛生委員・保健委員で清掃点検を行い、美化意識の高揚を図る。	B				
		学期に1回、校内安全点検を実施して危機箇所を把握し、事故防止に努める。	学期に1回、校内安全点検を実施して危機箇所を把握し、事故防止に努める。	A				
		授業や学校行事等において、ワンヘルスの視点を盛り込んだ教育活動を計画・実施する。	ワンヘルスについて、様々な機会を利用して普及・啓発を図る。	A				
ワンヘルスの普及・啓発を図る。	ワンヘルスについて、様々な機会を利用して普及・啓発を図る。	A	A	教科横断型で実施するような取組であることを鑑み、カリキュラムマネジメントの面から調整していかなくてはならない。関係教科との連携を図り、周知を図る必要がある。				
ワンヘルス教育の事前・事後において、生徒の変容が見とれるようアンケート調査を実施する。	ワンヘルス教育の事前・事後において、生徒の変容が見とれるようアンケート調査を実施する。	B						
キャリア教育	キャリア教育	多様な分野で活躍する志の高い生徒を育てる。			学力向上会議、進路検討会、3年担任会議等により、進路・学年・教科で個々の生徒の情報を共有する。	A	A	模試を計画通りに実施し、新しい形で学力向上会議を実施し、振り返りを行うことができた。最難関大学を目指す生徒をさらに育成していくことが課題である。
		リーダーとして活躍する生徒にふさわしい学力を定着させる。			校外機関と連携した進路企画や講演会を活用し、広い視野と向上心を育てる。	A		
		最新の進路関連情報を教員・生徒・保護者に提供する。			ポータルサイト、個人面談、進路HRIにより、生徒自身で活動を振り返り、改善する機会を作る。	B		
		進路指導にかかわるデータを活用する。			生徒の学力やニーズに応じた課外を設定し、魅力ある講座を提供する。	A		
		模試や国内研修などを活用し、難関大学にチャレンジできる生徒を発掘・育成する。	模試や国内研修などを活用し、難関大学にチャレンジできる生徒を発掘・育成する。	B				
		進路便り(生徒・保護者向け)を毎月発行して、生徒が自らの進路を拓くための情報提供を行う。	進路便り(生徒・保護者向け)を毎月発行して、生徒が自らの進路を拓くための情報提供を行う。	A				
教員への情報提供によって、教員が共通認識を持って進路指導を行う環境を整える。	教員への情報提供によって、教員が共通認識を持って進路指導を行う環境を整える。	B	A	本年度外部機関と連携を行い、様々な講演会や講座を行うことができた。生徒が進路を考える機会を提供できた。				
教員に進路指導に関わる研修や先進校視察の機会の提供を行う。	教員に進路指導に関わる研修や先進校視察の機会の提供を行う。	B						
生徒の教科学力、学習時間等を分析し、指導に役立てる。	生徒の教科学力、学習時間等を分析し、指導に役立てる。	B						
外部機関と連携し、データを活用し、教員に情報提供を行う。	外部機関と連携し、データを活用し、教員に情報提供を行う。	A						
生徒が自らの進路を考えることができるように、必要な情報を提供し面談する。	生徒が自らの進路を考えることができるように、必要な情報を提供し面談する。	A						
紙媒体とデジタル媒体で模試のデータを提供し、進路指導を行う環境を整えた。教科を超えて、学年や担任間で情報を共有し一丸となって生徒の指導に当たる必要がある。	紙媒体とデジタル媒体で模試のデータを提供し、進路指導を行う環境を整えた。教科を超えて、学年や担任間で情報を共有し一丸となって生徒の指導に当たる必要がある。	A						
研修	図書研修	読書活動を通して豊かな感性を養うように図書館の利用頻度を高め広報活動を充実する。	職員室前ホールに設置のミニ図書館や昇降口での掲示など広報活動を更に充実させる。	A	A	本を紹介する掲示スペースの確保に努める。生徒の活動時間を考慮して、17時以降でも本の返却が可能な返却BOXの設置を検討する。		
		ICTの活用等今日的な課題について職員研修を充実し、教科指導力と生徒指導力の向上に資する機会を提供する。	図書館ホームルームの実施に合わせて閲覧室の特設コーナーや新着図書の実内を活性化させる。	B				
		ICTの活用等今日的な課題について職員研修を充実し、教科指導力と生徒指導力の向上に資する機会を提供する。	集団読書会で読む本の購入や選定については従来のジャンルにとどまらず柔軟に対応する。	A				
		本校で育成したい6つの資質・能力(キーコンピテンシー)の向上に資する取り組みを他分掌と連携して行う。	1人1台タブレット端末の活用等、ICT活用の推進に役立つ研修会を実施する。	A				
		職員・生徒の健康や安全、人権教育に関わる校内職員研修会を実施する。	職員相互の授業参観や研究授業、教科会議等を通して教科指導力の向上に資する機会を提供する。	A				
		教育実習生に対する指導を改善し、指導の効率化と担当教員の負担軽減を図る。	職員・生徒の健康や安全、人権教育に関わる校内職員研修会を実施する。	B				
新しい学力観に基づいた学力の育成と適切な評価に資する情報提供、また研修会の実施を行う。	教育実習生に対する指導を改善し、指導の効率化と担当教員の負担軽減を図る。	A	A	今年度よりもさらに、ICTの活用が進んでくると予想されるので、先生方の希望に即した研修等を検討していきたい。				
年度末に集約する各班の成果と課題に関わる一連の取組が次年度に生かされるよう改善を図る。	新しい学力観に基づいた学力の育成と適切な評価に資する情報提供、また研修会の実施を行う。	B						
年度末に集約する各班の成果と課題に関わる一連の取組が次年度に生かされるよう改善を図る。	年度末に集約する各班の成果と課題に関わる一連の取組が次年度に生かされるよう改善を図る。	B						
人権教育	人権教育	人権教育特設授業について、本校で身につけさせたい資質・能力を意識し、全職員で協力して取り組む。			年間4回(第3学年は3回)の人権教育特設授業の内容や方法を改善しながら、担任・副担任で取り組む体制を継続していく。	A	A	人権教育特設授業において、『かがやき』『あおぞら』などを有効に活用し、指導者によって差が出ない効率の良い授業が展開できるようになってきた。古い教材の変更や人権研修会などでの最新の人権問題に関連する内容に更新していく必要がある。
		『かがやき』『あおぞら』『あおぞら2』等の人権教育学習教材の年1回以上の活用を促し、本校で育成したい資質・能力を高める。			『かがやき』『あおぞら』『あおぞら2』等の人権教育学習教材の年1回以上の活用を促し、本校で育成したい資質・能力を高める。	A		
		人権教育特設授業に使用できるDVD等の教材を増やし、生徒の状況に応じた多様な授業計画を立案、実施する。			人権教育特設授業に使用できるDVD等の教材を増やし、生徒の状況に応じた多様な授業計画を立案、実施する。	B		
		各家庭や学年と連携しながら、多様性を認め合えるような集団の形成をめざし支援を行う。	各学年、担任・副担任、事務室、保健室との情報交換を密にし、生徒の実態把握を組織的に行う。	A				
		各分掌や各種委員会との連携を図り、教育上配慮を必要とする生徒の早期発見、早期対応に取り組む。	各分掌や各種委員会との連携を図り、教育上配慮を必要とする生徒の早期発見、早期対応に取り組む。	A				
		就学支援金や奨学金などの各担当者との連携を密にし、経済的に不安を抱える生徒に対する支援体制を強化する。	就学支援金や奨学金などの各担当者との連携を密にし、経済的に不安を抱える生徒に対する支援体制を強化する。	A				
あらゆる教育活動の中で、生徒・教員ともに社会の変化に対応した人権感覚を養っていく。	社会に即した人権感覚を意識した教育活動を実施するため、各学年、各分掌と連携しながら啓発活動を続けていく。	A	A	生徒育成班やいじめ撲滅対策委員会などの関係部署との連携を強化し、生徒間の人間関係における課題の発見、未然防止に努めていきたい。奨学金関連の案内も必要に応じて適宜実施することができたことを継続していきたい。				
校内の掲示物の掲示を充実させ、広報することで職員、生徒ともに人権意識の高揚を図る。	校内の掲示物の掲示を充実させ、広報することで職員、生徒ともに人権意識の高揚を図る。	A						
授業中はもとより、部活動や学校行事などにおいても、他を傷つける言動を許さない雰囲気作りをする。	授業中はもとより、部活動や学校行事などにおいても、他を傷つける言動を許さない雰囲気作りをする。	A						
社会に即した人権感覚を意識した教育活動を実施するため、各学年、各分掌と連携しながら啓発活動を続けていく。	社会に即した人権感覚を意識した教育活動を実施するため、各学年、各分掌と連携しながら啓発活動を続けていく。	A						
校内の掲示物の掲示を充実させ、広報することで職員、生徒ともに人権意識の高揚を図る。	校内の掲示物の掲示を充実させ、広報することで職員、生徒ともに人権意識の高揚を図る。	A						
授業中はもとより、部活動や学校行事などにおいても、他を傷つける言動を許さない雰囲気作りをする。	授業中はもとより、部活動や学校行事などにおいても、他を傷つける言動を許さない雰囲気作りをする。	A						
事務	事務室	質の高い行政サービスの提供と効率的業務の遂行を図る。	爽やかで明るく丁寧なサービスの提供(接遇)に努める。	A	A	事務室全体で明るく丁寧な対応ができた。今後も引き続き丁寧な窓口対応等に心がけたい。		
		業務の効率的遂行を図る。	業務の効率的遂行を図る。	A				
		学校経営に資する予算の執行を行う。	教育活動状況を的確に把握し、適時に最適な執行に努める。	B				
		教員の要望にNoと言わない事務室を目指す。	教員の要望にNoと言わない事務室を目指す。	A				
今年度は光熱水費の上昇等で予算執行に苦慮したが、優先順位をつけて学校運営に支障がでないように適時適切な予算執行を行うことができた。	今年度は光熱水費の上昇等で予算執行に苦慮したが、優先順位をつけて学校運営に支障がでないように適時適切な予算執行を行うことができた。	A						

A	改修により学習環境も以前より良くなっていると思う。感染対策の面からも環境整備に努めてほしい。 本館(八幡西生涯学習センター折尾別館)を利用している学生や、登下校の学生に接することで、健全な生徒指導が行われていると思われる。
A	紙媒体は子どもが保護者に渡さないの、進路だよりもデジタル化していただきたい。 世界的にも若者の将来(仕事を含む)が大きく変わっている中での「キャリア教育」は、ますます困難になってくると思われる。頑張ってください。 講演会や講座など、授業以外の学習も良い経験になると思います。
A	ICTの活用のために指導者の研修も大変なことと思われるが、課題をもって取り組んでいる。 図書を整備し、本好きな生徒の育成を期待する。 図書館特設コーナーは、ノーベル賞、芥川賞、直木賞や世界アルツハイマー月間など、タイムリーな企画で図書委員で取り組むと生徒達もより興味をひくと思う。
A	個性豊かな多様性のある生徒をそれぞれ認め尊重できる子ども達だと思っている。今後も支援をお願いしたい。 「ハラスメント」「メンヘラ」などの言葉が先行し、中身の充実が追いつかない時代でもある。学校に望まれるものも日増しに大きくなっている。一層の取組を期待する。
A	節電節水は「地球にやさしい」観点で生徒にも呼びかけて欲しい。 大変満足している。これからもよろしく願いたい。

評価項目以外のものに関する意見

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策

○教育推進:新課程3年目を迎え1つの区切りを迎えるので、次は令和7年度以降のカリキュラムを見据えての教育計画を練って行きたい。またインスタグラムをはじめとするさらなる情報発信に努めていきたい。
○生徒育成・人権教育:生徒との連携を密に取り、生徒の個性を大切にしながら各々が活躍できる場面をより多く作り出すことで、自発性や自主性を今まで以上に育てていきたい。加えて、いじめはどの学校でも起こり得るというスタンスで物心両面における安全・安心な学習環境を作り、生徒の成長をより効率よく進めていきたい。
○キャリア教育:校内の学習のみならず、自らの進路を考えるために外部機関と連携し、講座や講演会など積極的に行って行きたい。
○研修:ICT活用のための研修のさらなる充実を図る。図書館の利用頻度を増やすための図書館特設コーナーには、タイムリーな企画を計画するなど、生徒たちの興味関心を高めるものとしていく。

折尾駅周辺の工事や道の拡張により通学上の安全が危惧される。高校生であるから本人が責任をもつべきであるが、先生方からも安全面についてご助言をお願いしたい。
次年度の課題解決に向けて、学校独自で具体的な行動計画やアウトプット・アウトカムの設定も検討されてはどうか。